

日下議員（公明党）

令和4年12月12日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）G7広島サミットに向けた高校生の活躍の場づくりについて

教育委員会として、このまたとないG7広島サミットの機会をどのように子ども達の教育に生かそうとしているのか、教育長に伺う。

（答）

来年5月に開催される広島サミットは、主要国の政治リーダーだけではなく、世界各地から政府関係者や報道機関が多数来広され、世界中の多くの人々が注目する国際会議であり、広島の高校生が、広く世界に目を向けるとともに、地元広島の魅力を再確認する貴重な機会であると考えております。

行政や経済界など様々な分野の団体で構成される「広島サミット県民会議」に、県教育委員会も構成員として参画して取組を進めております。

その一環として、歓迎機運の醸成のため、県内の工業高等学校の生徒が、習得した技術等を活用して地域の特産品や観光名所などをデザインしたカウントダウンボードを製作しており、広島の魅力を再確認するとともに地域への貢献意識を高めております。

さらに、県内の公私立高等学校、特別支援学校13校の生徒が、広島サミット開催周知に係る路面電車1台とバス7台のラッピングデザイン制作に参画しており、広島の魅力の発信に取り組んでおります。

県教育委員会といたしましては、来年の広島サミットの開催を機に、将来を担う高校生が幅広い国際感覚を身に付けるとともに、地域への愛着を深めることができるよう取り組んでまいります。